

シーニックバイウェイ北海道

（指定支援組織）

シーニックバイウェイ支援センターの取り組み

Scenic Byway Hokkaido 2009

平成 22 年 5 月 17 日
シーニックバイウェイ北海道推進協議会

シーニックバイウェイ支援センター(略称:リソースセンター)

Scenic Byways Resource Center, Japan

- 設 立 : 2005年7月1日
- 目 的 : 日本におけるシーニックバイウェイの
持続的な推進・普及・発展を支援
- 事業内容 : 1 シーニックバイウェイに関わる情報共有・発信・連絡
2 シーニックバイウェイに関わる各種調査・研究
3 シーニックバイウェイに関わる広報・プロモーション
4 シーニックバイウェイに関わる人材育成・教育・資格認定
5 各種団体の連携を促進するためのコーディネーション
6 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

《 所在地 》

札幌市中央区南1条東2丁目11番地 南1条タカハタビル2F

電 話 011-204-7107 FAX 011-204-7108

E-mail info-sc@scenicbyway.jp

<http://www.scenicbyway.jp/>

支援センターの取り組み

広報 ホームページ・広報紙での情報発信

ホームページでの情報発信

【内 容】トピックス・イベント情報・各ルート
のおすすめポイント情報などを告知。

【年間アクセス数】79364（月平均 6614）
最多アクセス月 7月（9265）

【アクセスの多いコンテンツ】
「各ルートおすすめビューポイント」
「トピックス」など



イベント情報随時更新中!

→ 各ルートのおすすめポイント
各ルートの情報拠点、シーニックカフェ、シーニックデッキ、
シーニックポイント、シーニックロード情報をご覧ください。

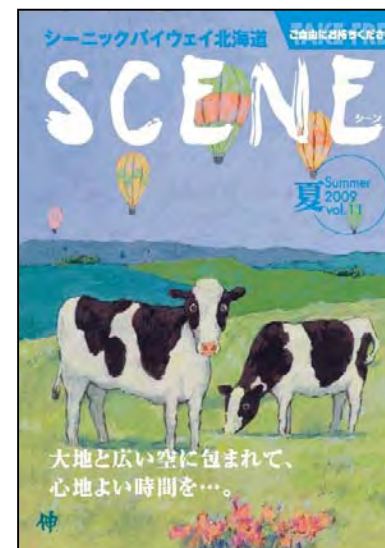


情報紙「SCENE」の発行

【内 容】シーニックバイウェイ北海道
各ルートの紹介のほか
旬のイベント情報などを紹介

【発 行】有限責任中間法人
シーニックバイウェイ支援センター
平成21年度 1回発行

【配布箇所】北海道内「道の駅」全店、道内空港
カウンター、レンタカー営業窓口、
北洋銀行全店 ほか



(<http://www.scenicbyway.jp/>)

夏 vol.1 1

広報 ドライブ観光情報誌「Byway」

Byway概要

秋号(創刊号)・冬号・春夏号



- 仕様: A5サイズ(横長)×32P(フルカラー)右綴じ
- 発行回数: 季刊 年3回発行(9月秋号・12月冬号・5月春号)
- 発行部数: 15万部
- 配布箇所: 道内道の駅全店、北洋銀行本店・全支店、北海道銀行札幌圏の本・支店、観光拠点、及び札幌・東京・大阪などの大都市圏 他
- 企画・発行: 北海道ドライブ観光推進コンソーシアム

訪れる・立ち寄る・出会う・思い出をつくる～

Bywayとは

- ◆シーニックバイウェイ北海道におけるドライブ観光総合情報誌
- ・地元住民のおすすめドライブルート
- ・滞在・体験メニュー、旬の食事、旅の思い出になるようなお土産など団体旅行では味わえない情報の提供



読者ターゲット

- ◆30～60代のドライブ観光客(道内・道外)
- ◆配布箇所には高速道路のSA、空港、ガソリンスタンドなども追加

経済産業省「平成21年度広域・総合集客サービス支援事業」により制作しています

支援センターの取り組み

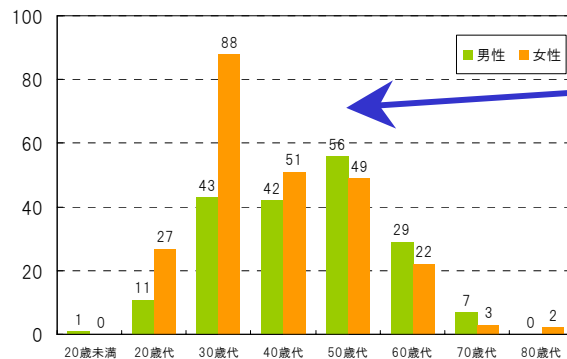
「Byway」の効果

本誌巻末頁でアンケートを掲載し実施

2009秋号vol.1の調査概要及び結果

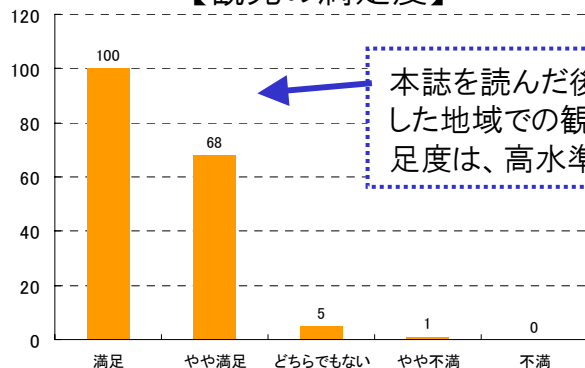
- 回答者数: 433名
- 設問内容: 個人属性・旅行頻度・本誌の熟読度・本誌での紹介地域の訪問意図・訪問結果・訪問時の満足度 等

【回答者の属性】



30～50代の男女の読者が多く、特に30歳女性の読者が多い。

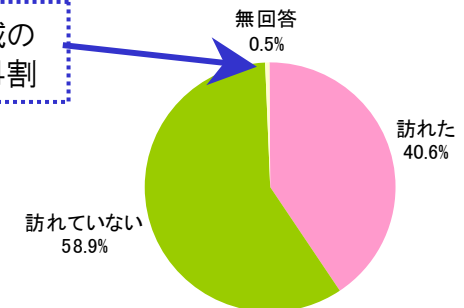
【観光の満足度】



本誌を読んだ後の紹介した地域での観光の満足度は、高水準

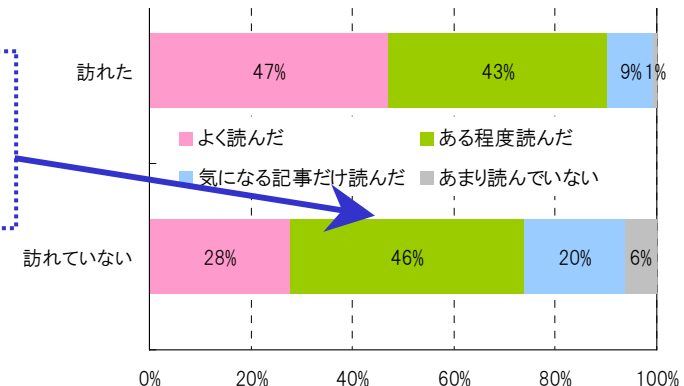
【本誌で紹介した地域の訪問有無】

紹介した地域の訪問実績は4割



【本誌の熟読度と紹介した地域の訪問結果】

本誌の「熟読度が高い」と紹介した地域を訪れる方が多い。



『Byway』は観光を行おうとする意図形成に効果があり、さらに、観光を行った際の満足度を高めることが示唆

経済産業省「平成21年度広域・総合集客サービス支援事業」により制作しています

電子会議室・コミュニティメールの運営管理

webとメールによる内部向け、外部向けの情報発信

◆電子会議室の運営

平成21年4月から平成22年3月までの電子会議室での発言件数は、130件。イベントへの参画の呼びかけや、助成金情報など幅広い発言がある。

支援センターでは、平成21年5月から、月1回のペースでシーニックバイウエイ推進協議会事務局から提供される「地域を応援するマンスリー・レター」を再編集し、ルート活動団体に必要な情報提供をしている。



◆コミュニティメール

活動団体、関係行政機関などの相互の情報共有・発信に利用。平成21年度は34件のメールが発信された。

コミュニティメールを受け取れる人は、全員このメーリングに対して、メール発信をすることができるので、ルートからの情報発信にも使うことができる

また、このメーリングにはルート・開発局職員、他、マスコミ関係、一般企業など約800人が登録している。



支援センターの取り組み

ルートとの連携と連携によるPR活動

◆ルートと連携した、PR活動・イベント参画

平成21年6月14日 YOSAKOIソーラン
「地域PRタイム」(札幌市 大通公園会場)
〈参加ルート〉
・トカプチ雄大空間

平成22年1月キャンペーン活動
北海道新聞・読売新聞札幌支社・HBC
「シーニックナイト2010」のキャンペーン活動
〈参加ルート〉
・支笏洞爺ニセコルート

シーニックナイト2010の宣伝のため、新聞社
などに直接出向き、各担当部署にイベントを
アピールした。



読売新聞 1/20朝刊掲載

平成22年2月6日 第61回さっぽろ雪まつり
「地域PRタイム」(札幌市 大通公園会場)

〈参加ルート〉
・宗谷シーニックバイウエイ
・トカプチ雄大空間
・札幌南シーニックバイウエイ

60分間の映像を使った地域アピールとじゃんけん大会など
を開催 (30分×2枠)



さっぽろ雪まつり

支援センターの取り組み

広報

各種媒体への情報発信

シーニックバイウェイ北海道の普及、啓発を目的とし、各種媒体と連携して情報発信を行った。



webサイト

「JAFナビ」内のドライブ情報コンテンツ

・モデルドライブコース

るるぶ北海道
平成22年2月発行



種 別	日 付	媒 体 名
冊子・雑誌	平成 21 年 4 月	ガーデンアイランド北海道 2009
	平成 22 年 2 月	るるぶ北海道 2010
新聞	平成 21 年 4 月	読売新聞 4/28 朝刊 ※観光特集
	4 月	北海道新聞 5/14 朝刊 ※新ルート認定
	4 月	釧路新聞 5/19 ※ドライブマップ
	4 月	十勝毎日新聞 5/21 ※ドライブマップ
	4 月	北海道新聞 5/23 夕刊 ※道新 web との連動企画の予告
	7 月	室蘭民報 7/16 朝刊 ※シーニックドライブマップ
	7 月	北海道新聞 7/3 朝刊 ※札幌南シーニックバイウェイモニターツアー
	7 月	読売新聞 7/24 朝刊 ※北海道観光を語る（座談会）
	10 月	室蘭民報 10/22 朝刊 ※BYWAY 創刊
	10 月	北海道新聞 10/24 朝刊 ※道新ウェブ特集みゆ旅
	10 月	日本経済新聞 10/27 朝刊 ※BYWAY 創刊
	11 月	北海道新聞 11/10 朝刊 ※トカプチ審査
	平成 22 年 2 月	読売新聞 1/20 朝刊 ※支笏洞爺ニセコルート「シーニックナイト」
広報紙 パンフレット	平成 21 年、22 年	開発こうほう 4 月号、5 月号、1 月号、2 月号、
	平成 21 年 7 月	トップツアー
	4 月	礼文島観光マップ
フリーペーパー	平成 21 年、22 年	道の駅ニュース 4 月、6 月、10 月、1 月
レンタカー地図	平成 21 年 4 月	トヨタレンタリース・ニッポンレンタカー他 8 社 13 件の地図掲載
ラジオ	平成 21 年 5 月	5 月 22 日 HBC ラジオ 「タ刊ほっかいどう」でシーニックバイウェイ北海道の PR
	平成 21 年 11 月	11 月 7 日・14 日 FM 北海道「カフェ@ロードサイド」で、シーニックバイウェイ北海道のルート紹介
	平成 21 年 5 月	JAF ナビ モデルドライブコース
ホームページ	平成 21 年 5 月	どうしんウェブ観光特集「ミユの寄り道たびノート」（全 6 回）
	平成 21 年 9 月	道新ブログ「ほっかいどう寄り道紀行」（随時更新）

支援センターの取り組み

情報発信 どうしんウェブ(北海道新聞社)との連携

道新ウェブとの連携企画「ミュの寄り道たびノート」は、全6回。更に記事フォローをする「ブログ」、及び「おすすめ観光ルート」の3本柱で、現在、H22年度の企画を調整中。

「ミュの寄り道たびノート」(全6回)

- ・更新日 H21年5月～H22年3月
- ・タイトル 「ミュの寄り道たびノート」
- ・コンセプト

観光を学んでいる大学2年生が、独自の視点を変えながらシーニックバイウェイ北海道のルートを巡る旅

- ・ビュー数 全6回の総計43,812ビュー
(H22.3月末日現在)

道新ブログ

- ・更新 随時
- ・ブログタイトル
ほっかいどう・寄り道
紀行
- ・ビュー数
H21年9月～H22年3月
総計136,604ビュー
(H22.3月末日現在)



道新 ブログ

ミュの寄り道たびノート



おすすめ観光ルート



支援センターの取り組み

ドライブ観光支援 シーニックドライブマップの発行

◆シーニックドライブマップ

内 容：ルートマップには指定ルートの情報拠点、オススメ情報を掲載。マップを見せるとお得なサービスを地域で受けられる「お得サービス」も掲載。

販売箇所：道内の道の駅全店、掲載箇所、ルート内の協力箇所（ホテル、観光案内所他）、フェリー船売店、レンタカー会社など



2009年度版
2万部発行・150円



2010年度版発行告知
【BYWAY Vol.03 より】

A1判4色刷（カラー）、
マップ折り（全道道の駅マップ付）
1部150円 2万部
5月下旬発行予定

※ルート情報ページの特集テーマは「スイーツ」
マップを見せて、地域でお得なサービス提供を受けられる「お得サービス」の情報はwebと連動させる形で細かな情報はそちらで確認できるようにして、サービス店舗名を大きく掲載

支援センターの取り組み

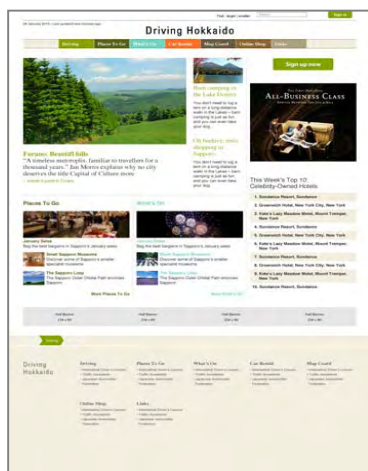
外国人ドライブ支援 外国人ドライブ観光総合支援プロジェクト

「ドライブ観光専門web」サイトの構築

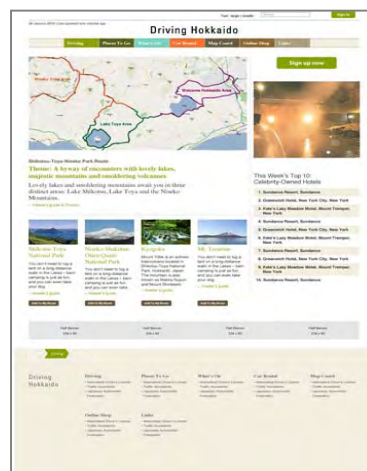
◆ドライブ観光専門webサイト

ドライブ観光客の旅行計画の立案、レンタカー利用等の利便性の向上を図るためのドライブ観光に関する情報提供専門のwebサイト

運用時期 平成22年度 試験運用予定



Webサイト トップページ



Webサイト 地域情報

経済産業省「平成22年度地域集客・交流産業活性化支援事業」により制作しています

■サイトコンテンツ案(将来イメージ)

グローバルメニュー項目	提供内容
ドライブインフォ	交通ルール
	高速道路利用
	ガソリンスタンド利用法
ドライブ&スポット	ドライブルート紹介
	観光情報紹介
	マイルルート生成機能
	クーポン発行機能
レンタカー	レンタカー情報
	予約受付
マップコードライブラリ	マップコードの利用方法
	マップコードポイントライブラリ
シーン&イベント	北海道の季節からの観光・イベント情報
Webショップ	掲載事業者の通信販売
リンク	リンクリスト

当サイトではドライブ観光をアシストする
情報提供に主軸を置き、将来的には・・・

- ・交通ルールの解説
- ・ユーザーによるドライブルートのシミュレーション
- ・ルートに関わる様々な情報提供
- ・掲載店舗のクーポン発行などのユーザーアシスト
- ・ヘルプデスクを併用したレンタカー予約代行 など

支援センターの取り組み

新たな観光メニュー創出 ツアー企画

◆GO!GO!シーニックワイナリーツアー (2009/10/10)

- ・参加者人数：49名(スタッフ含む)
- ・主な行程：シーニックバイウェイ北海道大雪富良野ルートにある富良野ワインを始め、3箇所のワイナリーでの試飲と見学

【旅行企画・実施】シービーツアーズ

【企画協力】シーニックバイウェイ支援センター

【協力】ソムリエ・池田卓也／舜悦

5回目の企画となる、好評のワイナリーツアー。バスでの長時間移動中に、シーニックバイウェイ北海道のルートの紹介やワインに関する講習などがある。



特別企画
GO!GO!シーニック ワイナリーツアー
北海道のワインを堪能する1日

シーニックバイウェイ北海道大雪富良野ルートにある3つのワイナリーで、北海道産のワインを試飲し、ワイナリーの歴史や生産方法について学びます。また、美しい自然風景を堪能できます。

【参加費】 大人 3,000円(税込) 小学生 1,500円(税込) 中学生 2,000円(税込) 高校生 2,500円(税込) 大学生 3,000円(税込)

【予約】 2009年10月10日(土) 10:00集合

【集合場所】 富良野市役所前(バス停)

【出発場所】 富良野市役所前(バス停)

【所要時間】 約10時間

【主催】 シービーツアーズ

【企画協力】 シーニックバイウェイ支援センター

【協力】 ソムリエ・池田卓也／舜悦

◆雪はね隊！ in 上富良野2010 (2010/02/06)

- ・参加者人数：24名(スタッフ含む)
- ・主な行程：上富良野町内で除雪支援、地域住民との交流
ウィンターサーカス2010鑑賞
(上富良野町見晴台公園、砂川SA、)

【旅行企画・実施】道新観光

【総合プロデュース】シーニックバイウェイ支援センター

【協力】上富良野町役場、上富良野町商工会

(社)かみふらの十勝岳観光協会

十勝岳温泉カミホロ荘

上富良野産豚肉販売推進協議会

(株)セイコーマート

シーニックバイウェイ大雪・富良野ルート

日本福祉のまちづくり学会北海道支部

(社)北海道開発技術センター



ちょっと大変、でも心も体も温まる雪国のお手伝い。

雪はね隊!
2010 in 上富良野

2010年2月6日(土) 9:00~21:00

【参加費】 2010年2月1日(月) 15歳以上 1500円(税込) 小学生 1000円(税込) 中学生 1500円(税込) 高校生 2000円(税込) 大学生 2500円(税込)

【予約】 2010年1月31日(土) 15:00まで

【集合場所】 上富良野町役場前(バス停)

【出発場所】 上富良野町役場前(バス停)

【所要時間】 約10時間

【主催】 道新観光

【企画協力】 シーニックバイウェイ支援センター

【協力】 上富良野町役場、上富良野町商工会、(社)かみふらの十勝岳観光協会、十勝岳温泉カミホロ荘、上富良野産豚肉販売推進協議会、(株)セイコーマート、シーニックバイウェイ大雪・富良野ルート、日本福祉のまちづくり学会北海道支部、(社)北海道開発技術センター、道新観光

支援センターの取り組み

環境 CO₂削減 カーボンオフセット「シーニックの森」

当センターは2008年5月12日にシーニックバイウェイ推進協議会より「シーニックの森」認定機関の指定を受け、各ルートから申請を受け「シーニックの森」の確認を行うほか、「カーボンオフセットのための植樹をしたい人」「シーニックの森づくりに参加したい人」「カーボンオフセット型のツアーを企画されている企業」への対応を行っている。現在、シーニックの森は、萌天の森（萌える天北オロロンルート）、えこりん村（支笏洞爺二セコルート）、てんとらんの森（東オホーツクシーニックバイウェイ）、きじひき森林公園の森（函館・大沼・噴火湾ルート）の4箇所である。

H21年度認定「シーニックの森」

【認定番号0003】てんとらんの森
住 所：網走市天都山（道立オホーツク公園内）
申請者：道立オホーツク公園 管理事務所
推 薦：東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議

【認定番号0004】きじひき森林公園の森
住 所：北斗市村山173-1（きじひき森林公園内）
申請者：函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議

H21年度 カーボンオフセット認証ツアー

えこりん村記念植樹祭
& 道弁「千歳鮭わっぱ」を楽しむ旅

ドライブ観光で排出されたCO₂の削減を目的として「シーニックの森」へ代行植樹を行う。

期間中に、ご利用頂いた方には、「シーニックバイウェイ・カーボンオフセット証明書」を発行。

実施期間：

2009年11月14日(土)～12月13日(日)



トヨタレンタリース札幌との連携
(ワンコインオフセット)



トヨタレンタリース札幌との連携
(低燃費コンテスト)

視察対応

- ◆視察対応 シーニックバイウェイ北海道の普及・啓発を目的とし、シーニックバイウェイ北海道およびシーニックバイウェイ全般に関わる視察に対応。
- 平成21年度の視察は4件47名であった。

平成21年度
視察対応状況

	対応日	名称	人数	視察ルート
1	平成21年6月30日 ～7月 9日	上北街道 北海道視察	9人	3班×3名=9名
2	平成21年7月9日	岡山県議会 土木委員会視察	12人	釧路湿原・阿寒・摩周 シーニックバイウェイ
3	平成21年10月22日	佐賀県議会 委員会視察	16人	東オホーツクシーニックバイウェイ
4	平成21年10月29日	千葉県議会 県土整備常任委員会の県外視察	10人	支笏洞爺ニセコルート



支援センターの取り組み

人材育成 各種研修会の開催

ブランド化や商品開発 に関する研修会

■平成22年3月12日(金)～13日(土)

■講師

小西 由稀氏(フリーライター)

* 北海道のフードライター

阪口 あき子氏

(株式会社シンプルウェイ 社長)

* イカール星人生みの親

■参加者 10名



1日目
研修会の様子



2日目
ワークショップの様子

外国人観光客への 「おもてなし」研修会

■平成22年3月12日(金)～13日(土)

■講師

西村 理佐氏(Follow Me Japan
代表取締役社長)

* シンガポールドライブツアー等

石川 めぐみ氏(北京東邦互惠コ
ンサルタント有限公司 社長)

* 中国人受入

■参加者 11名



1日目
研修会の様子



2日目
ワークショップの様子

各地域のホームページ 担当の研修会

■平成22年3月12日(金)～13日(土)

■講師

鈴木 宏一郎氏(北海道宝島旅行社

代表取締役社長)

* 「北海道体験.com」設立

吉田 聡子氏(株式会社 桐光ク
リエイティブ 代表取締役)

* 海外プロモーション

■参加者 9名



1日目
研修会の様子



2日目
ワークショップの様子

経済産業省 「平成21年度広域・総合集客サービス支援事業」により開催しています

支援センターの取り組み 民間企業等との連携「Bywayコミュニティ会議」

「Bywayインターナショナル会議」の開催

Bywayコミュニティ会議

■目的

北海道内のドライブ観光に関わるレンタカー会社、旅行会社、ホテル、レストラン、土産物屋などの企業を中心に、「BYWAYコミュニティ」を設立し、集客のためのドライブ観光商品の販売、情報交換、ドライブ観光客への質の高いサービスの検討等を行う。

■平成22年3月12日(金)17:00 ～ 19:00

■会議次第:

1. 開会
2. シーニックバイウェイ北海道 ルート活動紹介
3. 議事
 - (1) 今後の展開について
 - (2) 意見交換
 - (3) その他
4. 閉会

■出席者 民間企業35名、行政3名、研修会講師6名、研修会参加者16名、事務局9名 合計69名



Bywayコミュニティ・インターナショナル会議

■目的

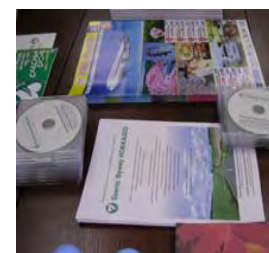
海外との連携を強めるために東南アジアの旅行会社等を中心に「BYWAYコミュニティ・インターナショナル」を設置して、国際的な集客のための外国人ドライブ観光商品の販売、情報交換と提供するサービスや観光プログラムの検討を行う。

■平成22年2月25日(木)

■会議次第:

1. 開会
2. シーニックバイウェイ北海道 ルート紹介
3. 議事
 - (1) 北海道ドライブ観光等について意見交換
 - (2) Bywayコミュニティ・インターナショナル設立について
 - (3) その他
4. 閉会

■出席者 Follow Me Japan スタッフ 11名
事務局 1名



経済産業省 「平成21年度広域・総合集客サービス支援事業」により開催しています

支援センターの取り組み

シーニックフォト倶楽部の運営

◆シーニックフォト倶楽部

内容: 写真を通じた活動で「美しく個性的な北海道」を発見し、魅力を発信していくことを目的とした、web会員限定の有償のフォト倶楽部。北海道で活躍するプロカメラマンからの講評が受けられる。投稿作品の管理なども行う。

会員数: 24名 (平成22年3月現在)

年会費: 6000円

・投稿作品について

投稿作品の著作権は投稿者に帰属し、シーニックフォト倶楽部事務局がこれを管理・運営する。

作品は、北海道のPRに有償・無償で提供することがある



・活動内容

毎月15日を投稿〆切として、会員が投稿。投稿作品は、北海道で活躍中のプロカメラマン3名が月別で審査、入選作品を5点選び、講評する。また、その月のベストシーニックフォトは、1ヶ月間フォト倶楽部のサイトのトップページを飾ることになる。



フォト倶楽部の投稿写真掲載媒体(有償)
(株)リージャスト発行
「大好き北海道」毎年カレンダー

フォト倶楽部のサイト

支援センターの取り組み

民間企業と地域の連携

道の駅&シーニックバイウェイ スロードライブHokkaido倶楽部

「道の駅&シーニックバイウェイ スロードライブHokkaido倶楽部」の会員カード「SCENE」は、北海道の景観、道、ドライブを愛する人を対象にしたカードで、北海道のドライブ環境、地域資源の保護や整備・維持などを目的にして「(株)ほくせん」の協力のもと発行している。



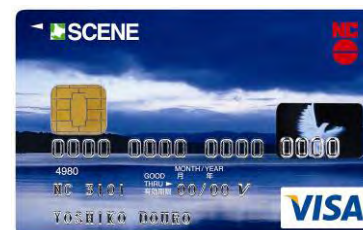
函館・大沼・噴火湾ルート



支笏洞爺ニセコルート



大雪・富良野ルート



釧路湿原・阿寒・摩周
シーニックバイウェイ



東オホーツク
シーニックバイウェイ



宗谷シーニックバイウェイ



萌える天北オロロンルート

総会員数 771名
平成22年3月現在

カード利用料金の0.3%が地域の景観保全活動をするために還元される。